

(別紙)

平成 25 年 10 月 31 日

## アドバイス支援（試用評価）依頼概要書

### 1. 依頼者の概要

事業者名	株式会社 中外製作所		
担当者名	杉田 亨		
担当者連絡先	住所	長野県須坂市井上 1700 番地 21	
	電話	026 (215) 2011	
	電子メールアドレス	sugita@e-chugai.com	
主たる業務	機械装置の設計・製造・販売・メンテナンス		
主要な製品			
希望する施設等の種類、職種	LAN 環境がすでにある介護施設か、ナースコール既設済み施設 ① 介護老人福祉施設・介護老人保健施設 ② 認知症対応型共同生活介護		
アドバイス（試用評価）機関の所在する地域希望	長野県北信地区が希望（特に、須坂市・高山村・小布施町）		
その他	豪雪地域のため、冬場遠距離移動が困難になるので近場の施設でお願いしたい		

### 2. 試作機あるいは機器開発コンセプトの概要

機器の名称（仮称）	BEAR SiTTERs（介護施設用見守り・睡眠モニタシステム）	
機器の写真あるいはコンセプトイメージ	 	
機器の目的及び特徴	<p>① 要介護者の見守りシステムとして各離床センサを用意し、ナースコールと併用して介護従事者への発報を行い、転倒（落）事故、また正常では考えにくい状況の前兆をセンサで検出することにより、インシデントの減少と介護従事者の負荷軽減を目指す。</p> <p>② 要介護者の睡眠状況をやすらぎ指数<sup>※1</sup>としてモニタリングすることにより、夜間の熟睡者以外の要注意者を抽出しメリハリのある見守りを行うことにより、予防介護への足掛かりと介護従事者の負荷軽減</p>	

	<p>減を目指す。</p> <p>③ 夜間のやすらぎ指数※1によって、生活リズム障害の指標とし、翌朝以降の介護従事者による生活リズム障害に対するケアのエビデンスとして期待できる。</p> <p>※1 寝返りによる睡眠の深さの予測値</p>
想定する使用者	<p>介護者：施設職員のみなさん</p> <p>被介護者：ご入居者の方</p>
想定する使用方法や使用環境	<p>介護施設の居室において、シーツセンサ（睡眠）、マットセンサ（離床）を配置し、それぞれを携帯端末に検知状況を発報させ、介護従事者へその状況をお知らせする。</p>
開発に至った背景	<p>要介護者（特に認知症者）は意欲の低下やもの忘れ、今の時間や場所がわからないなどの中核症状があることで、いつもの時間に寝る、起きる、いつもの時間にご飯を食べるといった自分なりのいつもの過ごし方ができにくくなってしまふ。</p> <p>また高血圧や糖尿病・便秘症などの病気や、痛み・痒みといった不快な症状、薬の副作用、役割や興味、関心を持つことができない生活などによって1日24時間の過ごし方がいつものようにできなくなってしまふ。しかも自分ひとりでは生活リズム障害を改善することができなくなってしまふ。ゆえに、心の安心と身体の安定が崩れてBPSDが発症する原因になる。そして、イライラと興奮からさらに就寝時間になっても眠れず、抑うつ状態から家事や趣味を行うことができないなどの悪循環になってしまふ。</p> <p>このようにBPSDが出現している状態は生活リズム障害と大きく関係しており、これを予防し改善するためには、認知症の方の生活リズムを整えることが重要なポイントになると考えます。</p> <p>このことから本事業において第一に睡眠状況のセンシングと、正常では考えにくい状況や前兆を検出し、生活リズム障害へのケアへ必要な指標を介護従事者へ提示することで、自立した自分らしい生活の獲得へ向けて必要なケアを受けられることや、要介護者の事故の低減やインシデントを減らすことが期待できる。また介護従事者のエビデンスに基づいたケアの確立と、介護負荷の軽減が開発を始めたきっかけである。</p>
現在の開発状況	<p>&lt;BEAR SiTTERs（介護施設用見守り・睡眠モニタシステム）&gt;</p> <p>試作機が完成 動作試験中</p>
現在の課題	<p>第Ⅰ相試験は継続して行っているが、第Ⅱ相試験は行っていない。実際に使用する現場職員の方の声を伺いたい。</p>
アドバイス（試用評価）をしてほしい事項	<p>通常使用で、センシングができていますか</p> <p>通常使用で、どの程度汚損するのか</p> <p>安全面はどうか 他</p>
その他	